

「連合の森」の森林整備を実施

10月27日、当署管内の阿蘇深葉国有林内の分収造林契約地「連合の森」において、連合熊本菊池阿蘇地域協議会主催による列島クリーンキャンペーンの自然環境保全活動の一環として「連合の森」の森林整備作業を、当署関係者12名を含む約70名が参加して開催されました。

開会式では、川畑充郎署長から「25年間の長きにわたり森林整備作業を続けていることに敬意を表するとともに、このすばらしい森林が次世代に繋がるように継続した活動を期待します」との挨拶に続いて、松本輝生総括森林整備官から作業上の注意事項等について指導しました。

参加者は、「連合の森」内の歩道補修作業と旧内牧小学校深葉分校での森林教室の二班に分かれて活動を行い、当署職員の指導のもと歩道補修作業では既設歩道の階段部分の丸太交換を行い心地よい汗を流すとともに、森林教室では子供達を対象に松ぼっくりを利用したクリスマスツリーの作成と火おこし体験にチャレンジして楽しみました。

作業終了後は昼食交流会を開催し、参加者から当署に対して事前準備や指導等の協力に対して多くのお礼の言葉を頂きました。

当署としては、引き続き関係機関等と連携して国民参加の森林づくりと森林環境教育活動の推進を積極的に実施していく考えです。



(参加者でハイチーズ)



(歩道補修作業の様子)



(ツリー作成の様子)



(火おこし体験の様子)